

原 著

朝日大学歯学部学生短期海外研修派遣の前後による意識変化

小 嶋 千栄子<sup>1)</sup> 羽 田 詩 子<sup>1)</sup> 岩 堀 正 俊<sup>1)</sup> 山 村 理<sup>1)</sup>  
日下部 修 介<sup>2)</sup> 横 矢 隆 二<sup>3)</sup> 岩 尾 慧<sup>3)</sup>  
服 部 景 太<sup>3)</sup> 永 山 元 彦<sup>4)</sup> 藤 原 周<sup>1)</sup>

Changes in attitudes of dental students before and after participating  
in short-term overseas training

KOJIMA CHIEKO<sup>1)</sup>, HATA UTAKO<sup>1)</sup>, IWAHORI MASATOSHI<sup>1)</sup>, YAMAMURA OSAMU<sup>1)</sup>,  
KUSAKABE SYUSUKE<sup>2)</sup>, YOKOYA RYUJI<sup>3)</sup>, IWAO SATOSHI<sup>3)</sup>,  
HATTORI KEITA<sup>3)</sup>, NAGAYAMA MOTOHIKO<sup>4)</sup>, FUJIWARA SHU<sup>1)</sup>

朝日大学歯学部教育理念の中に、高度な専門知識と専門技術を習得し、高い倫理観と教養を身に付け地域社会に貢献するとともに国際社会にも通用する歯科医師の育成を目指すとされている。朝日大学歯学部は、建学の精神に基づき、グローバルな思考を身に付けるために学生・教員の海外への派遣および海外からの積極的な受け入れを行ってきた。

朝日大学歯学部における学生奨学短期海外研修は1993年に北京大学口腔医学およびカルフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部から始まった。その後、現在までにアメリカ4大学、中国2大学、メキシコ、フィンランドおよびイタリア各1大学の計9大学と交流を拡大してきた。朝日大学歯学部における学生奨学短期海外研修の特徴は9大学の派遣大学からも学生を受け入れる双方向の研修事業であることである。また、派遣学生の渡航費や宿泊費の全額を朝日大学が負担しており、全ての派遣は朝日大学の姉妹校である明海大学歯学部からも同数の学生が参加して行われている。

今回、朝日大学歯学部の国際交流プログラムを検討するための基礎資料を得るために、学生奨学短期海外研修に派遣した学生の国際交流に関する意識調査と態度変容について調査を実施し、検討した。調査は、2013年から2015年3年間の派遣学生102名に派遣前と派遣後の国際交流に対する関心や印象について行った。派遣されることで語学学習へのモチベーションは変わらなかったが、臨床研修に対するモチベーションは大きく増加し、友人・知人を得ることが成果として多かった。派遣学生の約半数は派遣にあたり外国語の会話や学習を行っており、国際交流への関心を高めることで外国語学習への動機づけを促す効果が期待できると考えられる。今後は、国際交流プログラムの活性化を図り、国際交流への関心を高めることで臨床研修に対してだけでなく、語学学習への動機づけを促し、さらに継続的な学習環境の整備を行う必要が求められる。

キーワード：意識調査、短期海外研修、態度変容

*The educational philosophy of Asahi University's School of Dentistry is to acquire advanced specialized knowledge and skills, acquire a high sense of ethics and culture, contribute to the local community, and*

<sup>1)</sup> 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科補綴学分野  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851

<sup>2)</sup> 朝日大学歯学部口腔機能修復学講座歯科保存学分野  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851

<sup>3)</sup> 朝日大学歯学部包括支援歯科医療部  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851

<sup>4)</sup> 朝日大学歯学部口腔病態医療学講座口腔病理学分野  
〒501-0296 岐阜県瑞穂市穂積 1851

<sup>1)</sup> Department of Prosthodontics, School of Dentistry, Asahi University

1851 Hozumi Mizuho-city Gifu Japan 501-0296

<sup>2)</sup> Department of Restorative, School of Dentistry, Asahi University  
1851 Hozumi Mizuho-city Gifu Japan 501-0296

<sup>3)</sup> Department of Dental Practice for Comprehensive Support, School of  
Dentistry, Asahi University

1851 Hozumi Mizuho-city Gifu Japan 501-0296

<sup>4)</sup> Department of oral pathology, School of Dentistry, Asahi University  
1851 Hozumi Mizuho-city Gifu Japan 501-0296

(2022 年 12 月 26 日受理)

*produce dentists who can be accepted in the international community. Based on the founding spirit of Asahi University, the School of Dentistry has sent students and faculty members overseas and actively accepted international students in order to acquire a global mindset.*

*In 1993, Asahi University's School of Dentistry began a short-term student scholarship program for overseas training at Peking University School of Stomatology in Beijing, China and the University of California, Los Angeles, California. Since then, we have expanded our program to a total of nine universities, including four American, two Chinese, and one university in Mexico, Finland, and Italy. The primary feature of the short-term student scholarship program for overseas training at Asahi University's School of Dentistry is that it is a reciprocal training program that accepts students from and sends students to the nine universities listed above. In addition, Asahi University bears all the travel and accommodation expenses of the exchange students, and all exchanges include an equal number of students from Meikai University's School of Dentistry, a sister school of Asahi University.*

*In order to obtain basic data to examine the international exchange program of Asahi University's School of Dentistry, we conducted a survey on the awareness of international exchange among students who participated in a short-term scholarship program for overseas training, and investigated the changes in their attitudes. The survey was conducted on 102 students from 2013 to 2015 regarding their interest in and impressions of the international exchange before and after their participation. After participating, their motivation for language learning did not change, but their motivation for clinical training increased significantly, and gaining friends and acquaintances was a common interest. About half of the students engaged in conversation and foreign language learning during the exchange; an increased interest in international exchange as a source of motivation for students to learn foreign languages was expected. In the future, revitalization of the international exchange programs will be necessary, as well as raising interest in international exchange, boosting motivation not only for clinical training but also for foreign language learning, and further enhancement of the continuous learning environment.*

Key words : awareness survey, short-term overseas training, attitude changes

## 緒 言

朝日大学歯学部教育理念の中には、高度な専門知識と専門技術を習得し、高い倫理観と教養を身に付け地域社会に貢献するとともに国際社会にも通用する歯科医師の育成を目指す<sup>1)</sup>とされている。それに従い Curriculum Policy は具体的に「国際人としての素養を習得するため、海外研修を推進する」と定められている<sup>2)</sup>。朝日大学歯学部における学生奨学短期海外研修(海外研修)は1993年に北京大学口腔医学(PUSS: Peking University, School of Stomatology)およびカルフォルニア大学ロサンゼルス校歯学部(UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry)から始まった。1995年にはテキサス大学サンアントニオ校ヘルスサイエンスセンター歯学部(UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry)およびメキシコ州立自治大学歯学部(UAEM: Autonomous University State of Mexico, School of Dentistry)、1999年アラバマ大学バーミングハム校歯学部(UAB: University of Alabama, School of Dentistry)、2002年空軍医科大学口腔医学院(AFMU: Air Force Medical University, School of

Stomatology)と交流を拡大してきた。これらの大学には、5学年を各5人ずつ派遣している。2006年トゥルク大学歯学部(UTID: The University of UTID, Institute of Dentistry)および、2008年シエナ大学(USSD: University of USSD, School of Dentistry)、2016年タフツ大学歯学部(TUSDM: Tufts University, School of Dental Medicine)と交流が始まり、この3大学には各2名を派遣している<sup>3)</sup>。朝日大学における海外研修の特徴は9大学の派遣大学からも学生を受け入れる双方向の研修事業であることである。また、派遣学生の渡航費や宿泊費の全額を朝日大学が負担することである。全ての派遣は朝日大学の姉妹校である明海大学歯学部からも同数の学生が参加して行われている。また、5人派遣の大学には、朝日大学及び明海大学の教員が各1人ずつ引率を行い、2名派遣の大学には、朝日大学と明海大学から交互に1名の教員が引率を行っている。派遣前には、壮行会を行い、それぞれに英語、中国語、スペイン語などで基本的な会話、自己紹介や抱負を発表している。今回、2013年から2015年の3年間に朝日大学から海外研修に派遣した学生の派遣前と派遣後の国際交流に対する関心や印象についての意識調査と態度変化について調査を実施し、検討した。

## 調査対象および方法

## 1. 調査対象

朝日大学歯学部5学年で2013年から2015年までの海外研修の参加者102名を調査対象とした。海外研修希望学生は、前年度の海外派遣希望学生は4学年時の1月末に、前年度の派遣学生全員による派遣大学での研修内容や特徴、派遣先でのアクティビティ、派遣学生が感じた魅力や派遣により受けた影響などについての約15分のプレゼンテーションを視聴する。海外研修希望者は必ず全てのプレゼンテーションを聴講して派遣希望大学を第1希望から第9希望までの順序を国際交流委員会に提出する。派遣学生の選考方法は、1学年から4学年までのGPA (Grade Point Average) と CBT (Computer-based testing) の成績および、国際交流委員による事前面接を点数化したものとを希望する大学の序列に従って選考した。事前面接は、海外研修参加の目的、熱意、海外での集団行動などの適性を5段階評価した。選考された学生の派遣大学、年齢、性別を表1に示す。

派遣期間は、UTID が10月頃、USSD が翌年の3月頃であった。この2大学以外の7校は8月第3週から第4週にかけて臨床実習に最も影響のない夏季休暇に派遣を行った。また、派遣大学からの短期研修生の受け入れは、UAEM が同年の9月頃、PUSS が10月頃、USSD 及び AFMU が11月頃であり、翌年の3月末に UAB 及び UTHSCSA、4月初頭に UCLA を7日～10日間受け入れている。可能な限り受け入れ期間が重複しないように設定している。また、派遣期間および受け入れ期間中は、5学年の臨床実習期間であるので、選考された学生は臨床実習に大きな影響がないように、夏季休暇および補綴

科や保存科のように臨床実習期間の長い診療科でラウンドできるように臨床実習におけるグループ編成を調整した。派遣期間中の臨床実習は、臨床実習での学外実習(国際交流・海外研修)とし、派遣大学での、自験、介助、見学、講義聴講などの成果を研修レポートの作成および次年度に報告会で発表することを必須としている<sup>4)</sup>。

## 2. 派遣大学における研修内容の概要

派遣期間は、UCLA : 14日、UAB, UAEM : 10日、UTHSCSA : 9日、USSD, UTID, PUSS, AFMU : 7日であり、派遣大学からの受け入れ期間も派遣期間とほぼ同日数である。UAEM は、派遣先ではホスト学生の家にホームステイを行い、それ以外はホテルおよび寮に宿泊する。研修は、ホスト学生とペアになり臨床実習を行うことが多く、手術見学、地域開業医への訪問などがある。特別講義や基礎実習参加なども組み込まれている。全ての派遣大学で学部長や学長との面談や学部主催の歓迎レセプションが行われている。週末は、派遣大学近郊での観光、ホームパーティーやハイキングなど派遣大学の特色のあるアクティビティが計画されている。日本における派遣大学からの受け入れは、朝日大学と明海大学にほぼ同じ日数の受け入れを行っている。本学では、特別講義、臨床研修およびシミュレーション研修を行い、週末には京都にてモリタ製作所での学外研修を行っている。

## 3. 調査項目

選考後に派遣大学が決まった学生に対し渡航手続等の説明を行った際に、派遣前の自己記入方式の記名式で質問票調査を行った。また、各大学への派遣後に研修レポートとともに派遣後質問票を収集した。

表1 海外研修派遣学生

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
男性	4	4	5	9	6	10	6	6	50
女性	2	2	10	6	9	5	9	9	52
年齢									
22歳	1	2	7	7	6	4	7	6	40
23歳	0	2	4	4	5	5	2	6	28
24歳	2	0	0	2	0	2	1	1	8
25歳	0	0	0	0	2	1	0	0	3
26歳	0	0	1	0	0	1	2	0	4
それ以上	3	2	3	2	2	2	3	2	19

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San

Antonio, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UAEM: Autoumous University State of Mexico, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

派遣前の質問票では、海外研修に対する期待、研修希望大学の選択理由、派遣大学の調査、語学学習、派遣時期、派遣学生の選考方法、派遣に対する不安点、海外研修に参加することで期待できる影響などを、派遣後では、派遣により得られたこと、満足度、派遣で不安であったこと、卒業後の研修についてなどを調査した(表2)。

本研究は朝日大学歯学部倫理委員会の承認(承認番号 29030号)を受けて行ったものである。

## 結 果

### 1. 調査結果

派遣前および派遣後の質問票は全ての学生から回答を得た。海外研修派遣学生の性別および年齢分布を示す(表1)。22歳が最も多いが、26歳およびそれ以上の年齢層も多く派遣されている。学生の海外研修派遣大学を決めた理由を示す(表3)。UCLAでは大学の「知名度」、「臨床の内容」、「評判」で決めているが、8つの派遣先の合計では「国」、「評判」、「説明会のプレ

ゼンを見て」の順であった。「海外研修派遣先大学について何か調べましたか?」では、68名が調べたと回答しているが、PUSS及びAFMUの中国への派遣では事前に調べない学生が半数以上いた(表4)。「海外研修派遣にあたり外国語の会話や学習をしましたか?」に対しても63名が行い、特にUAEMとUABでは13名が「はい」と回答している(表5)。「海外研修派遣時期は5年生が適切ですか?」に対しては67名が「はい」との回答であった(表6)。海外研修派遣大学の選考方法についての質問では、やや賛成15名、賛成38名の回答を得た(表7)。海外研修派遣前と派遣後について、表8では最も期待したことと得られたことを示している。派遣前では「海外の歯科事情を知る」は67名であったのが派遣後では34名と半減していた。また、「友人・知人を得る」や「観光」では派遣後には人数が大きく増えていた。派遣前と派遣後で不安と思う事について回答を得てその変化を観察した(表9)。合計では、派遣前派遣後とも約半数

表2 調査内容一覧

表3	海外研修派遣大学を決めた理由は?
表4	海外研修派遣大学について何か調べましたか?
表5	海外研修派遣にあたり外国語の会話や学習をしましたか?
表6	海外研修派遣時期は5学年が適切ですか?
表7	海外研修派遣大学の選考方法はどうか?
表8	海外研修派遣で最も期待したこと(派遣前)得られたこと(派遣後)は何ですか?
表9	海外研修派遣で最も不安だと感じたこと(派遣前)不安であったこと(派遣後)は何ですか?
表10	海外研修派遣で最も影響を受けると思う事(派遣前)受けたこと(派遣後)は何ですか?
表11	卒業後、研修を受ける予定の施設は?
表12	臨床研修医が終わった後の進学、あるいは就職先は?

\* 調査内容とその結果を示した表番号を併記する

表3 海外研修派遣大学を決めた理由は?

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
研究内容	0	0	2	1	1	1	1	3	9
国	3	4	1	7	4	7	3	4	33
大学の知名度	0	0	4	1	0	0	2	0	7
臨床の内容	0	0	4	0	3	0	2	1	10
評判	0	0	4	2	2	4	6	4	22
説明会のプレゼンを見て	3	2	0	4	5	3	1	3	21

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San

Antonio, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表4 海外研修派遣大学について何か調べましたか？

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
はい	4	4	10	12	15	9	6	8	68
いいえ	2	2	5	3	0	6	9	7	34

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表5 海外研修派遣にあたり外国語の会話や学習をしましたか？

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
はい	5	2	8	8	13	13	7	7	63
いいえ	1	4	7	7	2	2	8	8	39

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表6 海外研修派遣時期は5学年が適切ですか？

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
はい	1	4	12	9	9	8	11	13	67
いいえ	0	1	0	2	2	1	0	0	6
わからない	5	1	3	4	4	6	4	2	29

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表7 海外研修派遣大学の選考方法はどうですか？

	USSD	UTID	UCLA	UTHSCSA	UAB	UAEM	PUSS	AFMU	計
反対	0	0	0	0	0	0	0	0	0
やや反対	0	1	0	2	2	0	1	1	7
ふつう	4	3	7	5	7	6	3	7	42
やや賛成	0	0	2	3	2	2	3	3	15
賛成	2	2	7	5	4	7	7	4	38

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology



の学生が「コミュニケーション」に不安があったことを示している。UAEM, PUSS および AFMU では派遣前に「健康状態」に不安があり、この3大学では「帰国後の成績」が派遣後の不安として示された。「海外研修派遣で最も影響を受けていると思うこと(派遣前)

受けたこと(派遣後)は何ですか?」で変化があったのは、「臨床研修」が派遣後では増加し「歯学の学習」は減少していた(表10)。「卒業後、研修を受ける予定の施設は?」及び「臨床研修医が終わった後の進学、あるいは就職先は?」については表11, 12に示す。

表8 海外研修派遣で最も期待したこと(派遣前)得られたこと(派遣後)は何ですか?

	USSD		UTID		UCLA		UTHSCSA		UAB		UAEM		PUSS		AFMU		計	
	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後
海外の歯科事情を知る	2	1	3	2	12	4	9	5	12	3	8	5	9	7	12	7	67	34
海外の技術を知る	3	0	1	0	1	6	4	7	1	7	1	1	4	2	3	2	18	25
友人・知人を得る	0	3	0	2	0	2	1	2	0	3	1	5	1	3	0	2	3	22
語学力の向上	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0
海外の研究・学術	1	0	1	0	1	0	1	0	1	0	3	0	1	0	0	0	9	0
観光	0	2	1	2	1	3	0	1	0	2	2	4	0	3	0	4	4	21

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表9 海外研修派遣で最も不安だと感じたこと(派遣前)不安であったこと(派遣後)は何ですか?

	USSD		UTID		UCLA		UTHSCSA		UAB		UAEM		PUSS		AFMU		計	
	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後
コミュニケーション	4	4	3	3	12	12	9	12	10	12	7	7	7	9	10	9	62	68
食事	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	4	1	1	0	8	2
友達関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
宿泊場所	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0
健康状態	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	3	0	3	1	4	1	12	2
講義などの理解力	1	1	3	3	3	3	3	3	2	2	1	3	0	1	0	3	13	19
事故など	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0
帰国後の成績	1	1	0	0	0	0	1	0	1	1	0	3	0	4	0	2	3	11

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表10 海外研修派遣で最も影響を受けると思う事(派遣前)受けた事(派遣後)は何ですか?

	USSD		UTID		UCLA		UTHSCSA		UAB		UAEM		PUSS		AFMU		計	
	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後	派遣前	派遣後
歯学の学習	3	2	3	3	13	8	12	8	8	8	7	6	11	6	8	8	65	49
語学学習	0	2	1	1	0	3	1	1	3	1	3	0	0	0	0	0	8	8
臨床研修	2	0	1	1	2	4	2	6	4	6	5	8	3	6	5	5	24	36
研究への興味	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
国家試験	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	1	3	2	2	4	8

USSD: University of Siena, School of Dentistry

UAB: University of Alabama, School of Dentistry

UTID: The University of Turku, Insitute of Dentistry

UAEM: Automous University State of Mexico, School of Dentistry

UCLA: The University of California, Los Angeles, School of Dentistry

PUSS: Peking University, School of Stomatology

UTHSCSA: University of Texas Health Science Center at San Antonio, School of Dentistry

AFMU: Air Force Medical University, School of Stomatology

表 11 卒業後、研修を受ける予定の施設は？

朝日大学	37
他の私立大学	14
国立・公立大学	27
病院歯科	14
開業医	10

表 12 臨床研修医が終わった後の進学、あるいは就職先は？

大学院へ進学(朝日大学)	17
大学院へ進学(他の私立大学)	6
大学院へ進学(国立・公立大学)	14
大学院へ進学(海外)	3
勤務(開業医)	32
勤務(病院歯科)	30

## 考 察

本学の派遣学生の選考方法は、CBT、GPA および面接で選考している。それに従い 26 歳およびそれ以上の学生が 2 割以上選考され、その多くが他大学や歯科（衛生士、技工士）専門学校などを卒業後に 2 学年に編入学した学生である。他の派遣学生も朝日大学歯学部への入学理由に、国際交流への参加を希望している学生が多くみられ、高い修学モチベーションを与えている。他学では英語によるプレゼンテーションの選考を行っている大学もある<sup>5)</sup>。本学の交流では派遣大学のホスト学生と臨床実習を行うので、臨床科目の十分な知識が必要なことから学業成績を重視した選考で、GPA での科目として英語が評価に加えられるに留まっている。表 5 の質問の結果から、派遣学生の約半数は派遣にあたり外国語の会話や学習を行っていた。特に UAEM への派遣学生はホームステイをすることもあり、簡単なスペイン語の学習をしたと考えられる。英語圏でないフィンランド、イタリア、メキシコおよび中国でも英語での交流が主であることと、派遣前に行われる壮行会で、それぞれに英語、中国語、スペイン語などで基本的な会話、自己紹介や抱負を発表するので語学の事前学習の契機となったと推察される。しかし、40%の派遣学生は外国語の学習を行っていない。本学では建学の精神の 1 つである国際未来社会を切り開く人材育成を行うために英会話が 1 学年から 3 学年まで必修科目として行われている。3 学年開講の英会話Ⅲでは到達目標を「海外から患者の歯科治療に必要な英会話能力を身に付け、さらに文化的な側

面からも海外を理解する英語力を持つことを目標とする。」と海外でのコミュニケーション能力獲得を意図して行われているが、外国語を自己学習しているとは言い難い。他学においても同様の傾向が報告され、国際交流への関心を高めることで外国語学習への動機づけを促す効果が期待できることを示唆している<sup>6,7)</sup>。

派遣前に最も期待していた事は「海外の歯科事情を知る」であったが、派遣後には「友人・知人を得る」が多くなり、特に UAEM では顕著であった。UAEM の派遣はホームステイであるため、ホストやホストファミリーとの関係が強く影響している。派遣前には UAEM および PUSS への派遣学生は「食事」に大きな不安感じており、アメリカおよびヨーロッパでは不安を感じる学生はいなかった。UAEM ではホームステイであることが不安要素のひとつであったと考えられる。派遣前、派遣後とも「コミュニケーション」や「講義などの理解力」が不安であるとの回答が多かった。また、「帰国後の成績」が不安となったのは、PUSS および UAEM の派遣学生が多く、派遣前より派遣後に海外研修派遣で最も影響を受けたこととして「臨床研修」が増えており、派遣により臨床研修に対する良い刺激を受けたと考えられる。他大学への派遣学生においても海外研修で最も影響を受けたことでは、「臨床研修」が多かった。特に UAEM、UAB、PUSS など研修においてホスト学生とともに患者実習を多く行った大学であった。これらの大学では、ホスト学生の自験を補助することで刺激を受けたと推測される。また、UAEM では、ホスト学生と指導を受けながら派遣学生が抜歯をする機会があることも一因と考えられる。

コミュニケーションに関し、派遣前、派遣後も不安を感じていたが、語学学習の契機とはならなかった。

## 結 論

2013年から2015年の3年間に学生奨学短期海外研修に参加した102名の学生に派遣前と派遣後の国際交流に対する関心や印象についての意識や態度変化は以下の通りである。

1. 派遣されることで語学学習へのモチベーションは変わらなかったが、臨床研修に対するモチベーションは大きく増加した。
2. 友人・知人を得ることが成果として多かった。

今後は、国際交流プログラムの活性化を図り、国際交流への関心を高めることで臨床研修に対してだけでなく、語学学習への動機づけを促し、さらに継続的な学習環境の整備を行う必要が求められる。

## 引用文献

- 1) 教育理念・目標：<https://www.asahi-u.ac.jp/dpt/>

faculty/dn/dn-gaiyo/ (2022年12月6日アクセス)

- 2) Curriculum Policy 教育課程の編成方針：<https://www.asahi-u.ac.jp/dpt/faculty/dn/dn-gaiyo/> (2022年12月6日アクセス)
- 3) 国際交流概要と歴史：<https://www.asahi-u.ac.jp/media/Data-over.pdf> (2022年12月6日アクセス)
- 4) 総合歯科学 I・臨床実習 I：[https://www.asahi-u.ac.jp/media/2022\\_5G\\_Syllabus.pdf](https://www.asahi-u.ac.jp/media/2022_5G_Syllabus.pdf) (2022年12月6日アクセス)
- 5) 高橋由希子, 船原まどか, 庄野庸雄, 原田和昭, 角館直樹, 西原達次, 引地尚子. 九州歯科大学口腔保健科における学部学生国際交流プログラムの取組. 九州歯学会誌. 2020; 3: 48-55.
- 6) 森尾郁子, 川口陽子, 須田英明, 江藤一洋. 国際交流に関する歯学部学生の意識調査. 日歯教誌. 2001; 2: 147-151.
- 7) 小島奈々恵, 内野悌司, 磯部典子, 高田 純, 二本松美里, 岡本百合, 三宅典恵, 神人蘭, 矢式寿子, 吉原正治. 日本人学生の国際交流に関する意識調査—「内向き志向」と国際交流意思の関係—. 総合保健科学: 広島大学保健管理センター研究論文集. 2015; 31: 35-42.